

平成22年 5月18日

平成22年3月期 決算説明会



本資料には、当社及び当社グループの将来についての計画、戦略、業績の予測に関する記述が含まれています。

これらの記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が予測したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により、実際の業績または展開は、記述されているものと異なる可能性があることをご承知おきください。

1. 決算概要、中期経営計画 進捗状況

- 代表取締役社長 井上舜三

2. 決算詳細説明

- 管理本部長 岡 敏朗

1-1. 決算概要

■ 連結売上高 4,750億円（前期比+2.0%）

： 工事進行基準の本格適用に伴い、完成工事高が2.4%増加。不動産等売上高は12.1%減少。

■ 営業利益 64億円（前期比+49.0%）

： 売上高の増加に加え、資材価格の下落などが寄与し、売上総利益率が向上（6.4% ⇒ 6.6%）。

■ 建設受注高（個別） 3,965億円（前期比▲7.1%）

： 厳しい経営環境を受け、官公庁工事、民間工事ともに減少（官：▲15.2%、民：▲3.3%）。

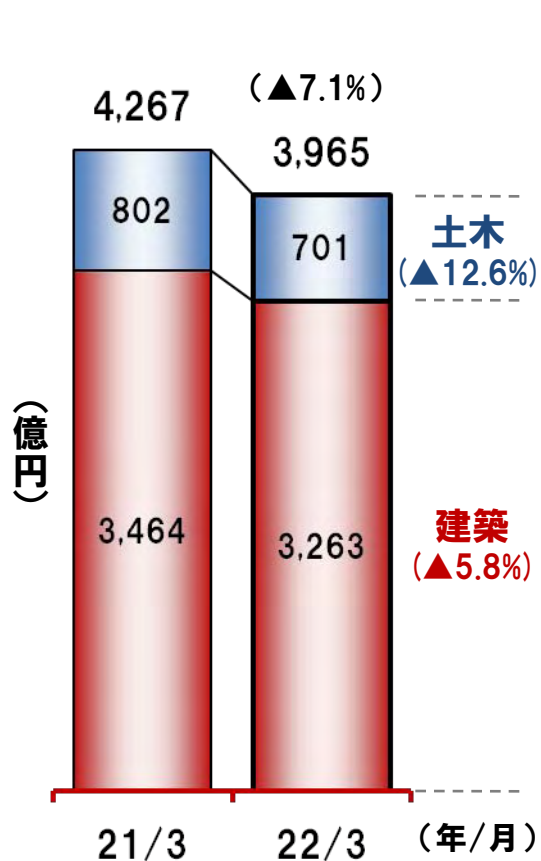
決算概要

(百万円)

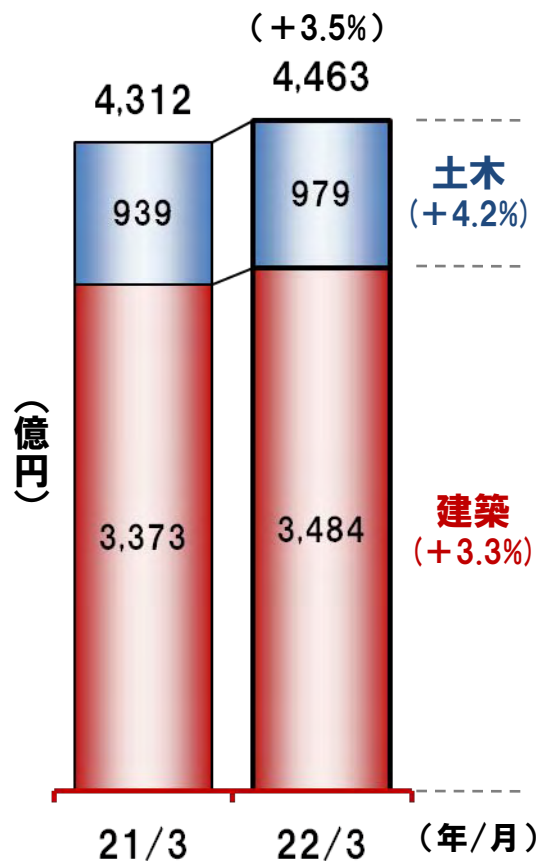
	21/3期	22/3期		
		期初予測	実績	予測との差異
連結売上高	465,893	498,000	475,055	▲22,945
営業利益	4,302	6,100	6,408	+308
経常利益	5,780	7,200	7,724	+524
当期純利益	2,817	3,500	3,175	▲325
建設受注高(個別)	426,703	440,000	396,545	▲43,455

建設事業の業績（個別）

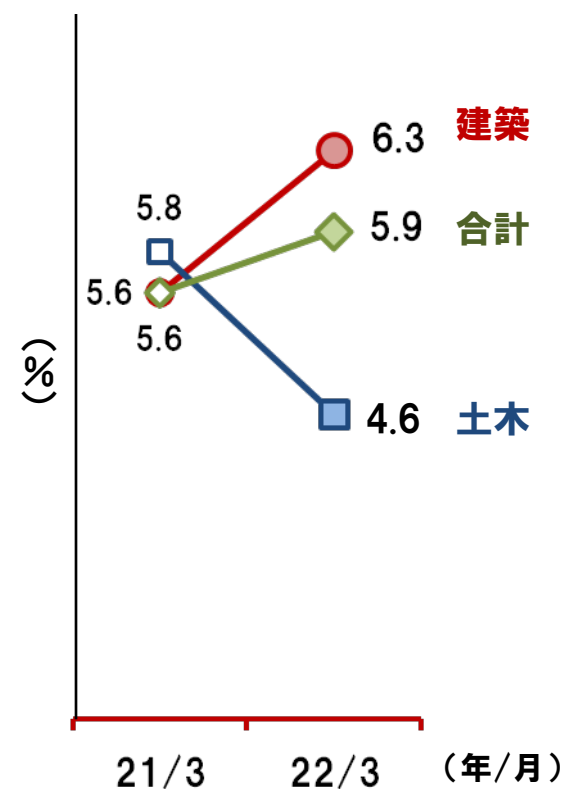
建設受注高



完成工事高

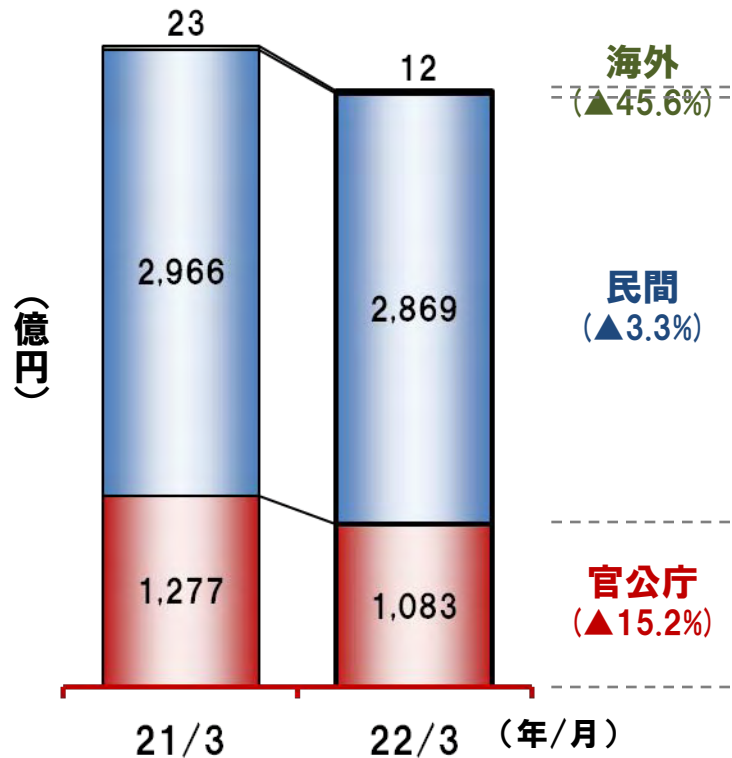


完成工事利益率

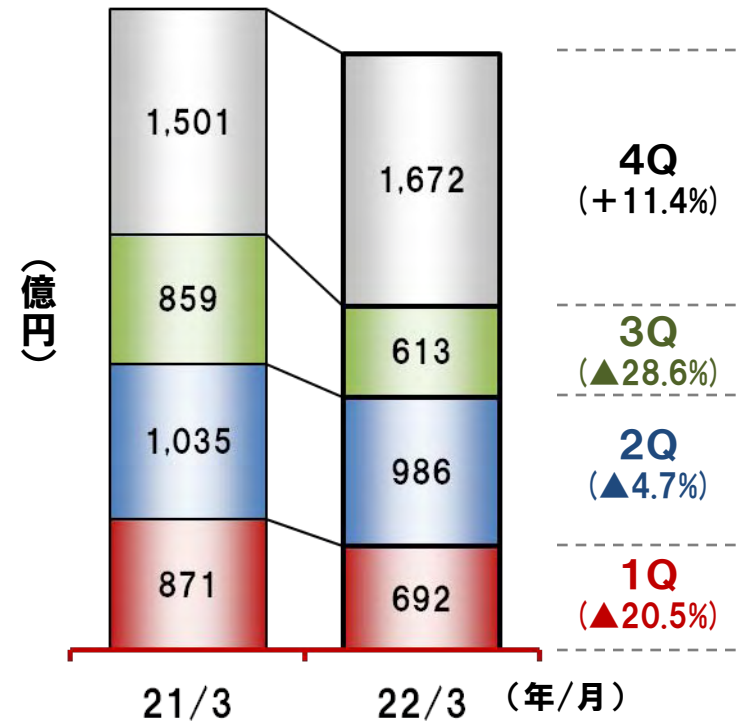


建設受注高の内訳

発注者区分別



四半期別



主な受注工事

発注者		工事名
建築	三菱地所	大手町一丁目第2地区B棟
	大阪ハートケアパートナーズ	大阪府立精神医療センター
	東洋大学	板橋区清水町キャンパス
	東京農業大学	新講義棟
	市街地再開発組合	京成曳舟駅前再開発
土木	西日本高速道路	東九州自動車道 泉工事
	東京都水道局	朝霞浄水場 配水池築造他
	鉄道・運輸機構	北陸新幹線 高岡駒方高架橋

※敬称略、工事名は略称

主な完成工事

発注者		工事名
建築	都市再生機構	晴海三丁目A1街区住宅建設他
	東京都立川市	立川市庁舎新築工事
	住友不動産	東品川四丁目計画
	TC1特定目的会社	スズケン神奈川物流センター
	赤城乳業	本庄工場新築工事
土木	シンシア	横浜金沢R・Cセンター
	都市再生機構	浦和東部U-54街区外整地
	広島高速道路公社	広島高速道路 温品JCT

※敬称略、工事名は略称

1-2. 中期経営計画 進捗状況

業況認識（予測）

民間工事

- 低水準での推移が続く。本格的回復は年末以降になると予想。

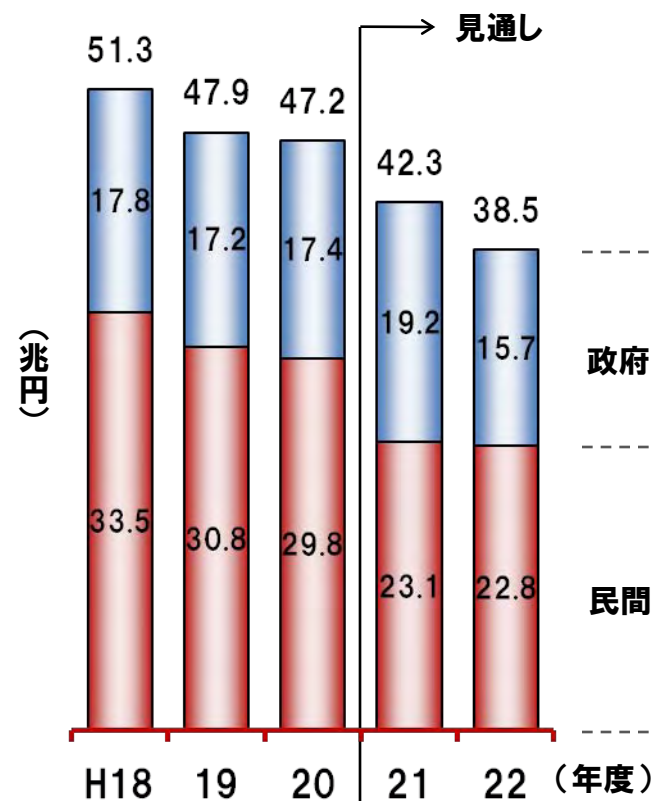
官公庁工事

- 公共事業の大幅な削減により、一段の競争激化が懸念される。

海外工事

- 新興国を中心に、設備投資がすすむと予想。

（参考）建設投資の推移



※資料出所：（財）建設経済研究所

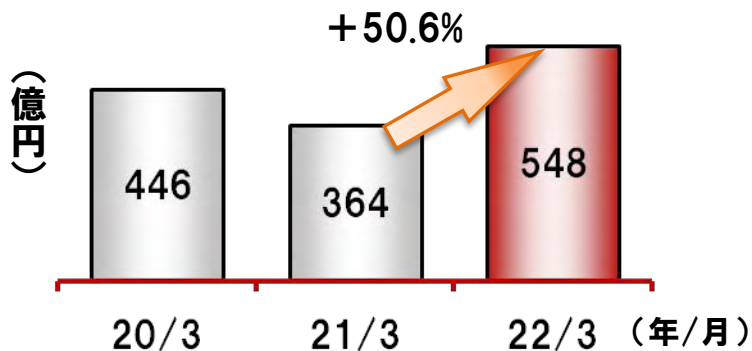
実施施策の進捗状況

指 標	目標（24/3期）	21/3期	22/3期
リニューアル工事比率 （対 建築完工高）	25%	15%	16%
重点分野受注比率	70%	68% （建土合計）	74% （建土合計）
海外受注高（連結）	200億円	97億円	61億円
不動産投資額 （期間累計）	230億円+α	—	68億円
首都圏売上比率	60%	51%	57%

営業体制を強化し、RN[※]工事受注高が増加

- RNプランナー制度の導入
- RN営業部技術営業課の設置
- グループ内で顧客情報共有化

RN工事受注高（建築）



今後の取り組み

テーマ別営業の強化

耐震改修

省エネ設備更新

完工比率25%に向けて、受注目標を設定

23/3期：660億円

重点分野（工事種類）

重点分野へ継続的にシフト

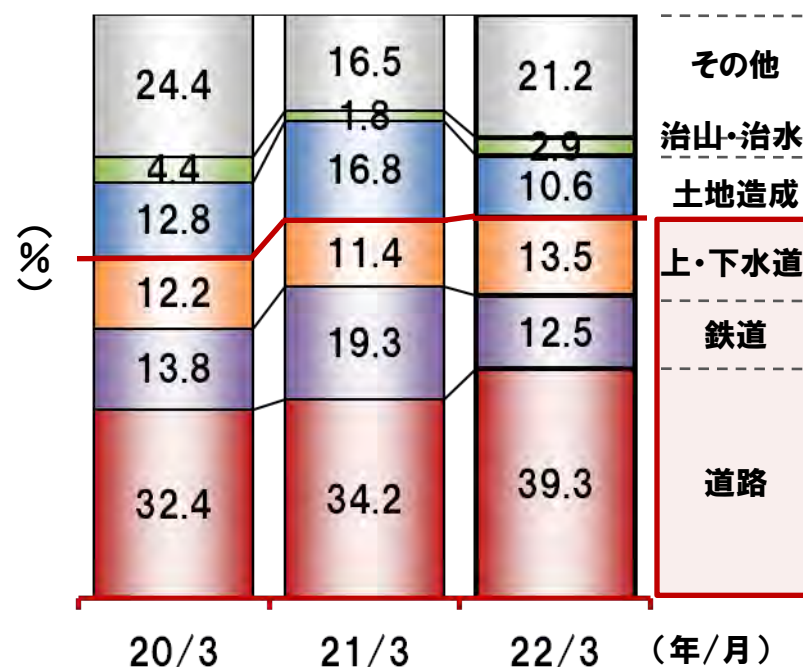
建築受注

重点比率 75.7%



土木受注

重点比率 65.3%



環境アクションプランを策定、技術提案を展開

環境メッセージ

地球の明日を考える 戸田建設

数値目標

CO₂排出量を2020年までに **40%削減**（1990年比）

- ① 当社が施工中に排出するCO₂総量
- ② 当社が設計する事務所ビルから排出するCO₂総量
- ③ 当社が改修工事中に排出するCO₂総量
- ④ 当社の保有施設から排出するCO₂総量

環境最先端ビルの建設

建築

×

不動産投資

×

環境

- 当社保有の土地に
環境最先端テナントビルを建設
- 中規模ビルにおける
先駆的モデルケースとして活用

工事場所 : 東京都港区
建物名称 : TODA BUILDING 青山
用途 : 事務所
構造規模 : S造、地上8階建
延床3,755.01㎡
竣工予定 : 平成23年3月

ブラジル及び中国を営業強化、増収を見込む

中国(上海・広州・深セン)

内需拡大に伴う旺盛な設備投資意欲
を受注に結び付ける。

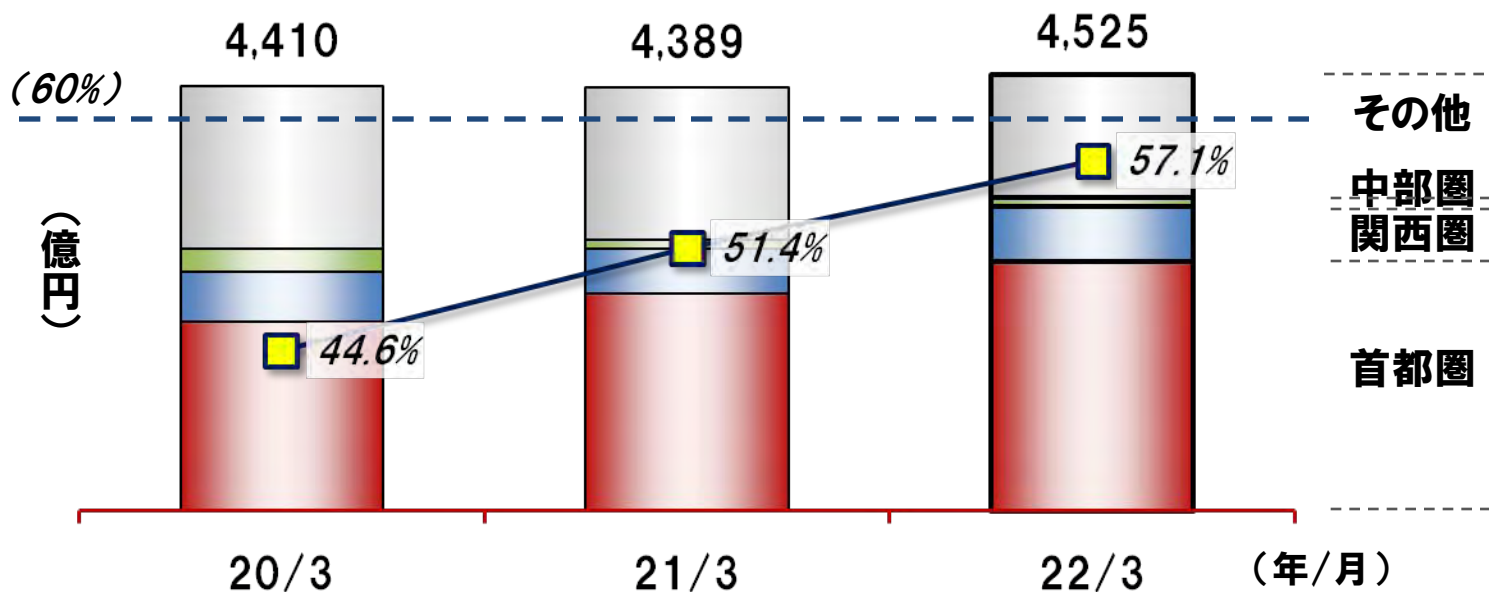
ブラジル

オリンピック準備等によるインフラ整備
にあわせて、景気の拡大と設備投資が
見込まれる。
唯一の日系ゼネコンとしての優位性を
発揮し、受注を確保。

首都圏比率が拡大、フレキシブルに人員を配置

地域別売上高（個別）

※折れ線は首都圏比率



首都圏：関東4支店、関西圏：大阪支店、中部圏：名古屋支店

中期業績目標（24/3期）

連結売上高

5,000 億円

経常利益

120 億円

今後の強化ポイント

- 地域別の建設投資状況に応じた経営資源の適正配分、効率化の推進
- 建設周辺分野(建物維持・管理等)の強化

1-3. 業績見通し

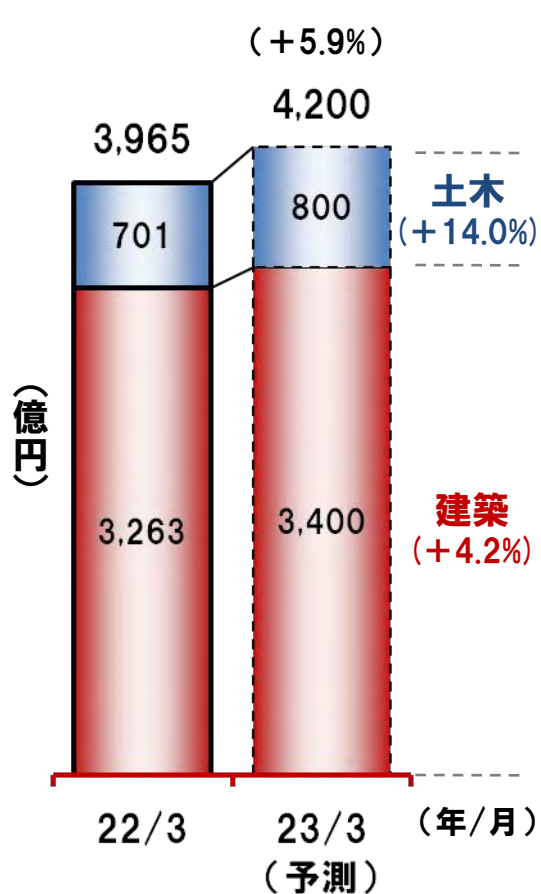
平成23年3月期 決算予測

(百万円)

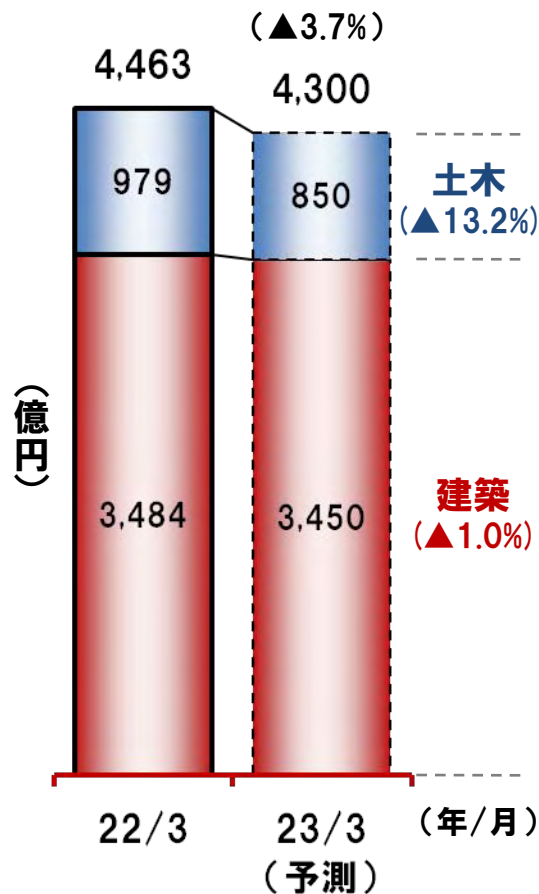
	22/3期	23/3期	
		予 測	前期比
連結売上高	475,055	467,000	▲1.7%
営業利益	6,408	7,100	+10.8%
経常利益	7,724	8,200	+6.2%
当期純利益	3,175	4,000	+26.0%
建設受注高(個別)	396,545	420,000	+5.9%

建設事業の業績予測（個別）

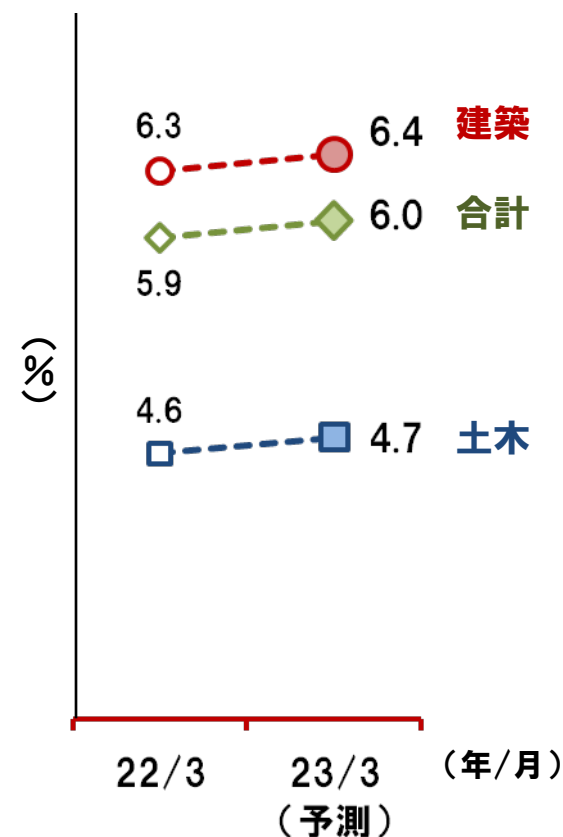
建設受注高



完成工事高



完成工事利益率



2-1. 連結損益計算書

連結子会社の状況

【建設事業】 9社

戸田道路(株)
戸田リフォーム(株)
千代田建工(株)
シプコー工業(株)
(株)アペックエンジニアリング
ブラジル戸田建設(株)
戸田建設工程(上海)有限公司
タイ戸田建設(株)

+

ベトナム戸田建設(有)

【不動産事業】 3社

千代田土地建物(株)
八千代アーバン(株)
アメリカ戸田建設(株)

【その他の事業】 3社

戸田ファイナンス(株)
東和観光開発(株)
千代田スタッフサービス(株)

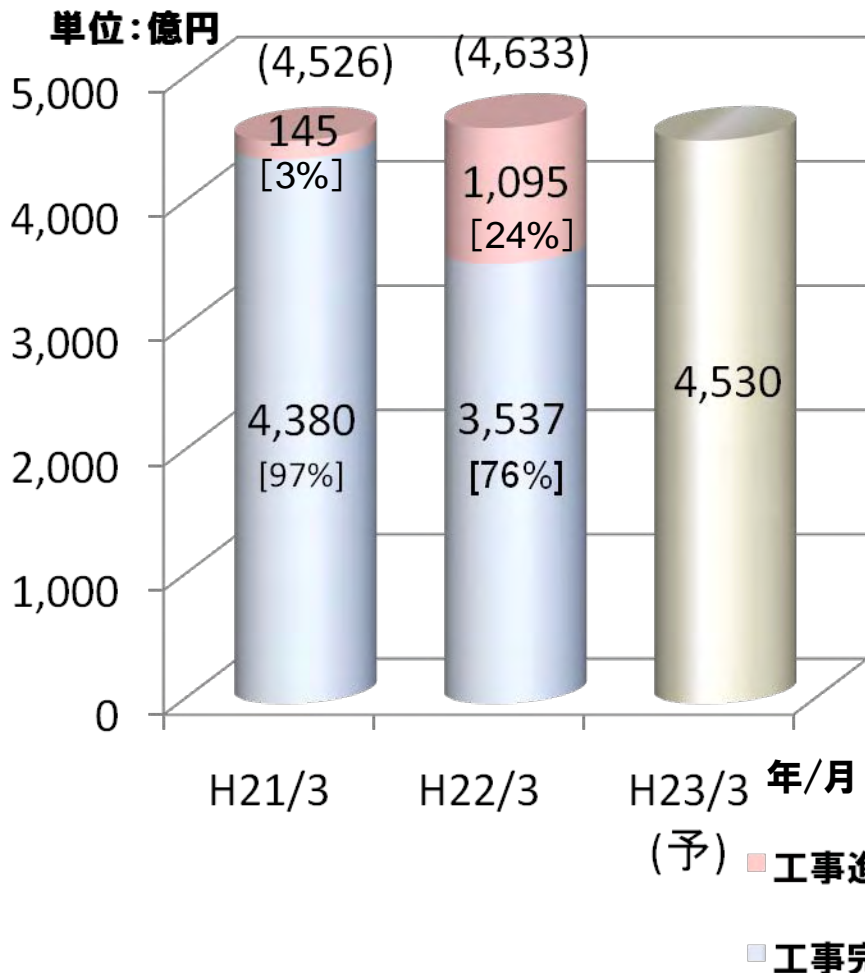
合計 15社

【連結】連結損益計算

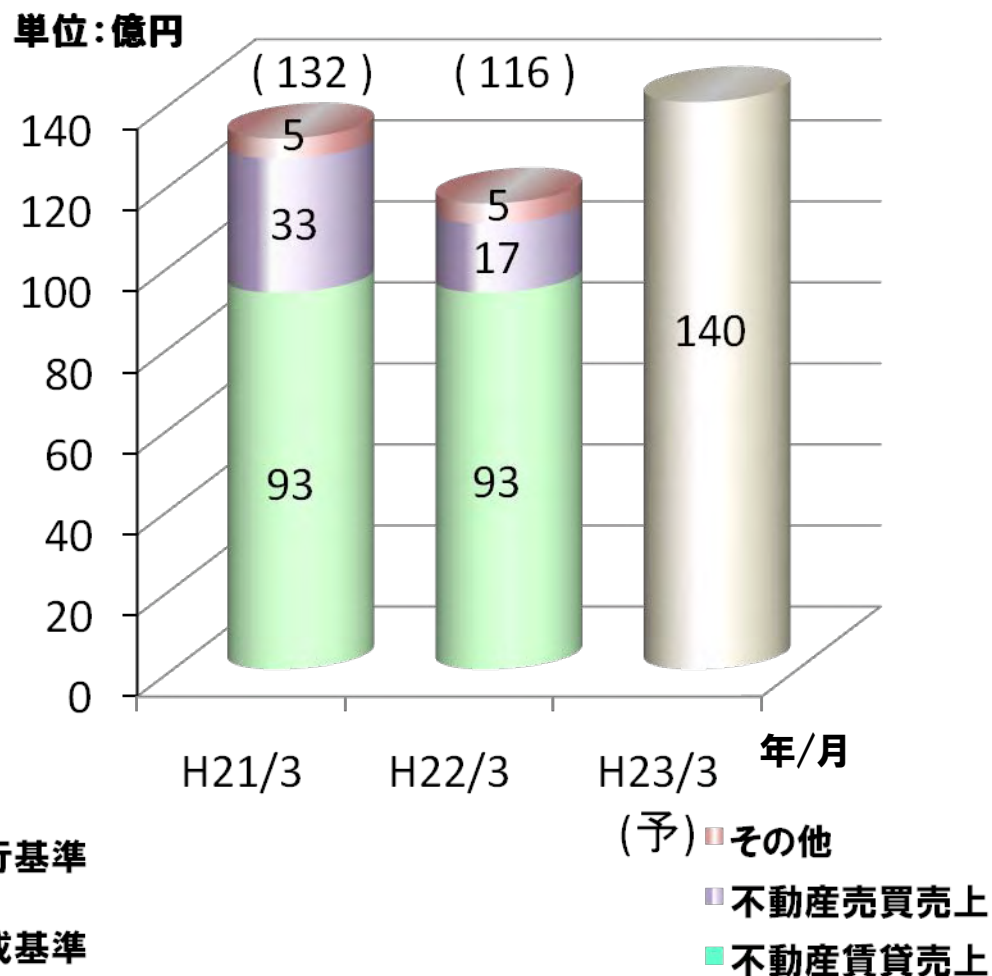
年/月					(億円)
	21/3 (実績)	22/3 (実績)	増減額	増減率	23/3 (予想)
売上高	4,658	4,750	91	2.0%	4,670
売上総利益	298	313	14	4%	318
販売費及び一般管理費	255	249	▲6	▲2%	247
営業利益	43	64	21	49%	71
営業外収支	14	13	1	11%	11
経常利益	57	77	19	33%	82
特別損益	▲6	▲15	9	158%	-
税引前当期純利益	51	61	9	19%	82
法人税等	21	29	7	36%	41
少数株主利益	1	0	▲1	▲95%	1
当期純利益	28	31	3	12%	40

【連結】売上高の推移

建設事業



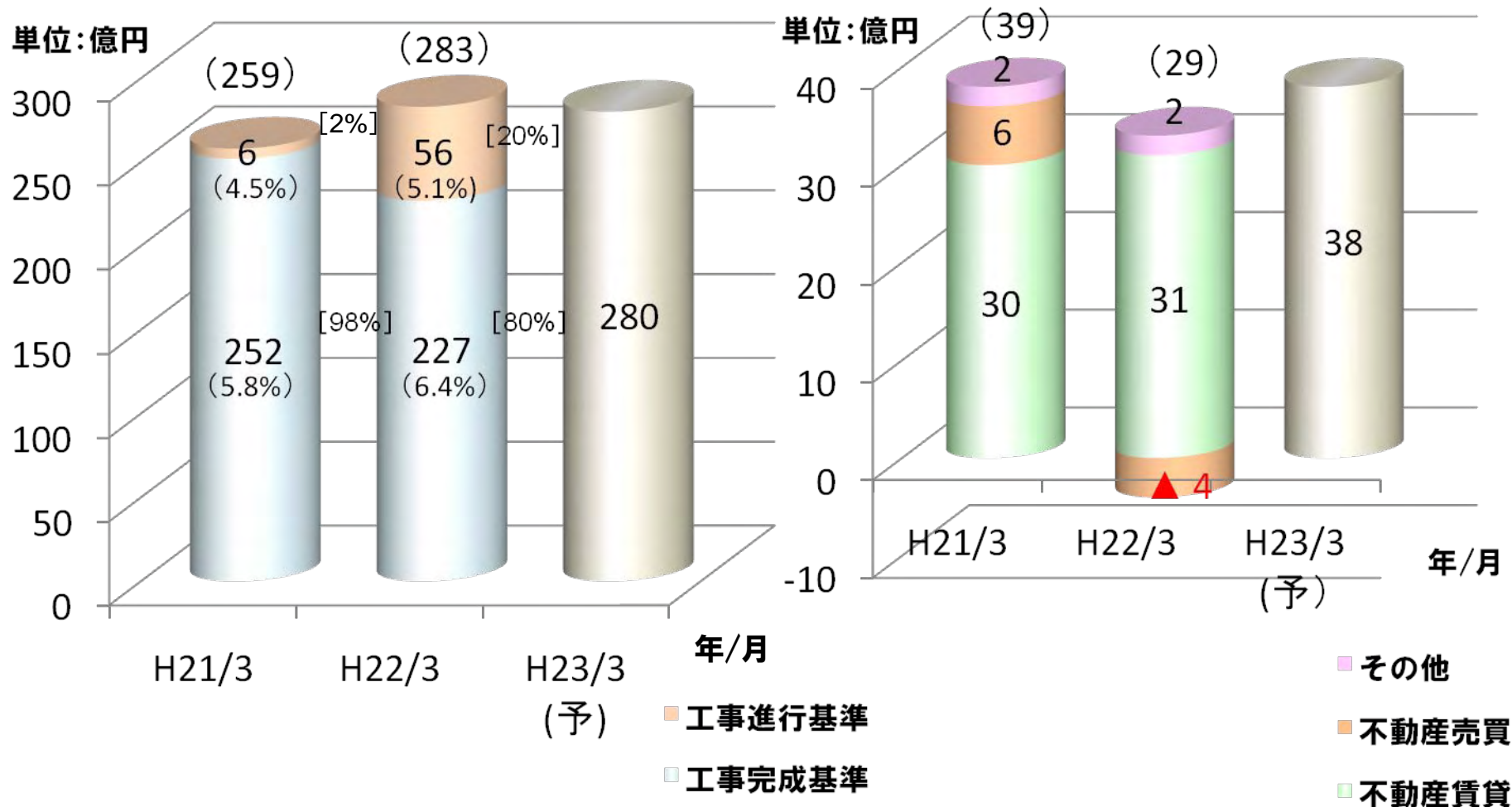
不動産・その他事業



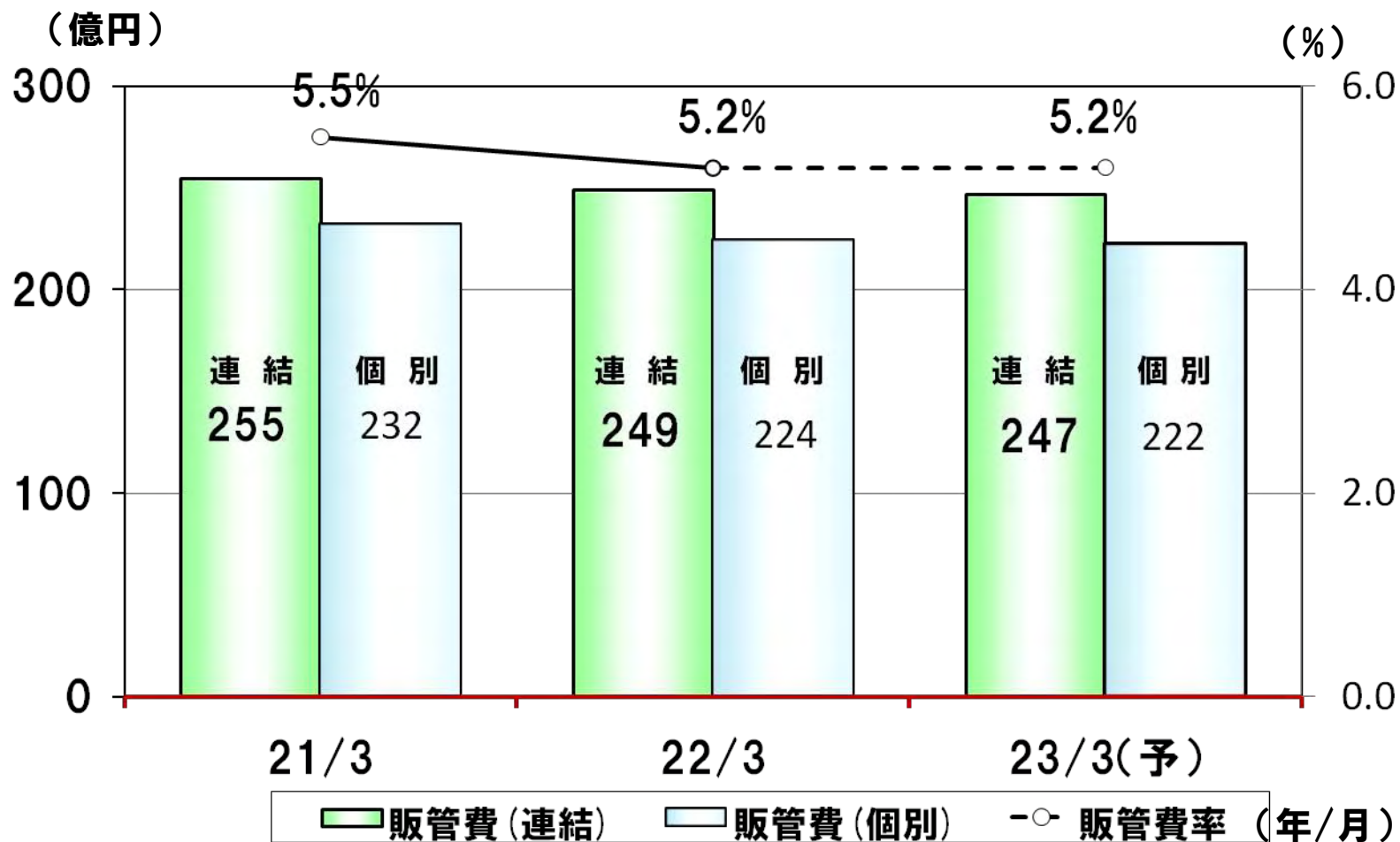
【連結】売上総利益の推移

建設事業

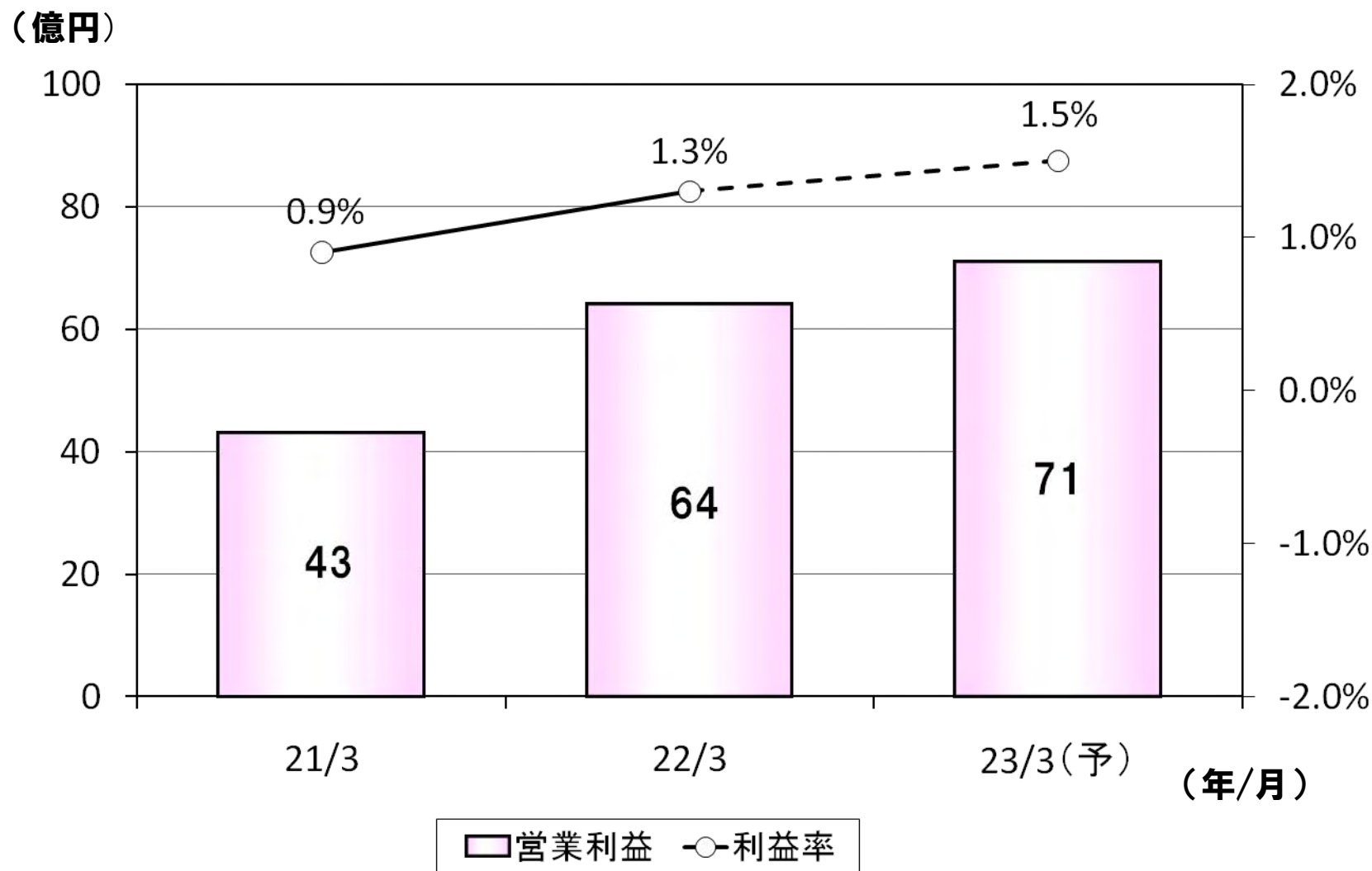
不動産事業・その他事業



【連結】販管費の推移

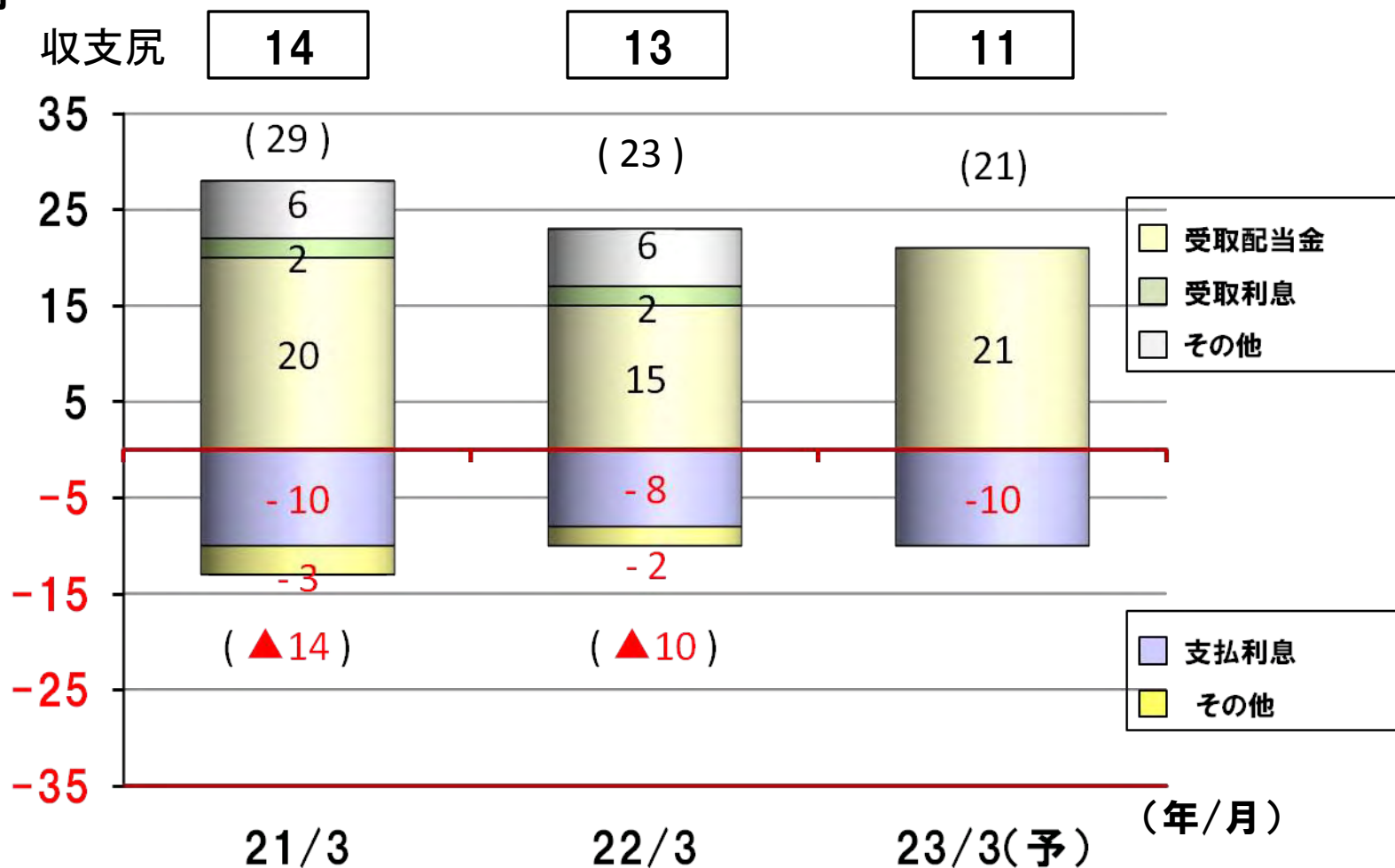


【連結】営業利益の推移

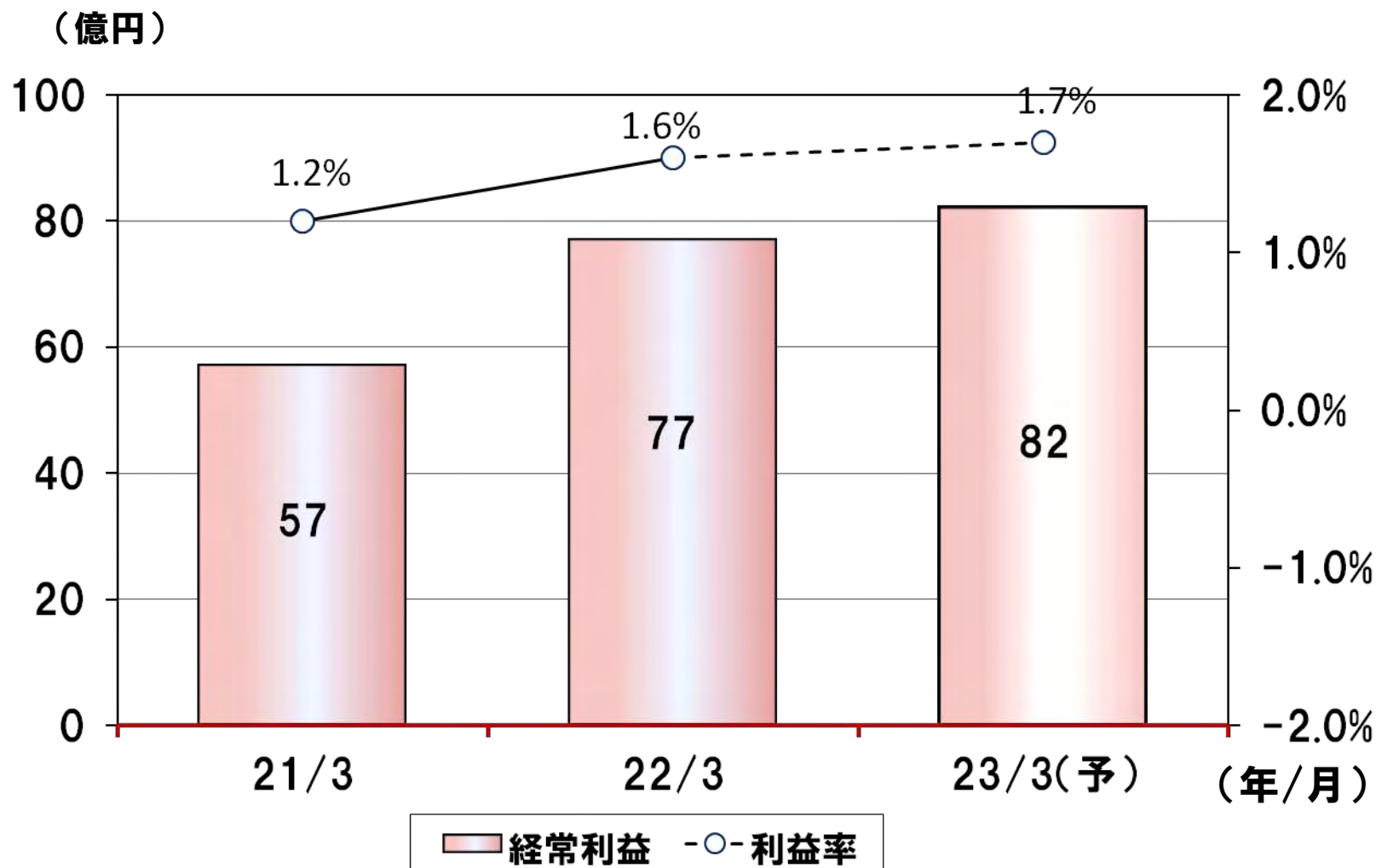


【連結】営業外収支の推移

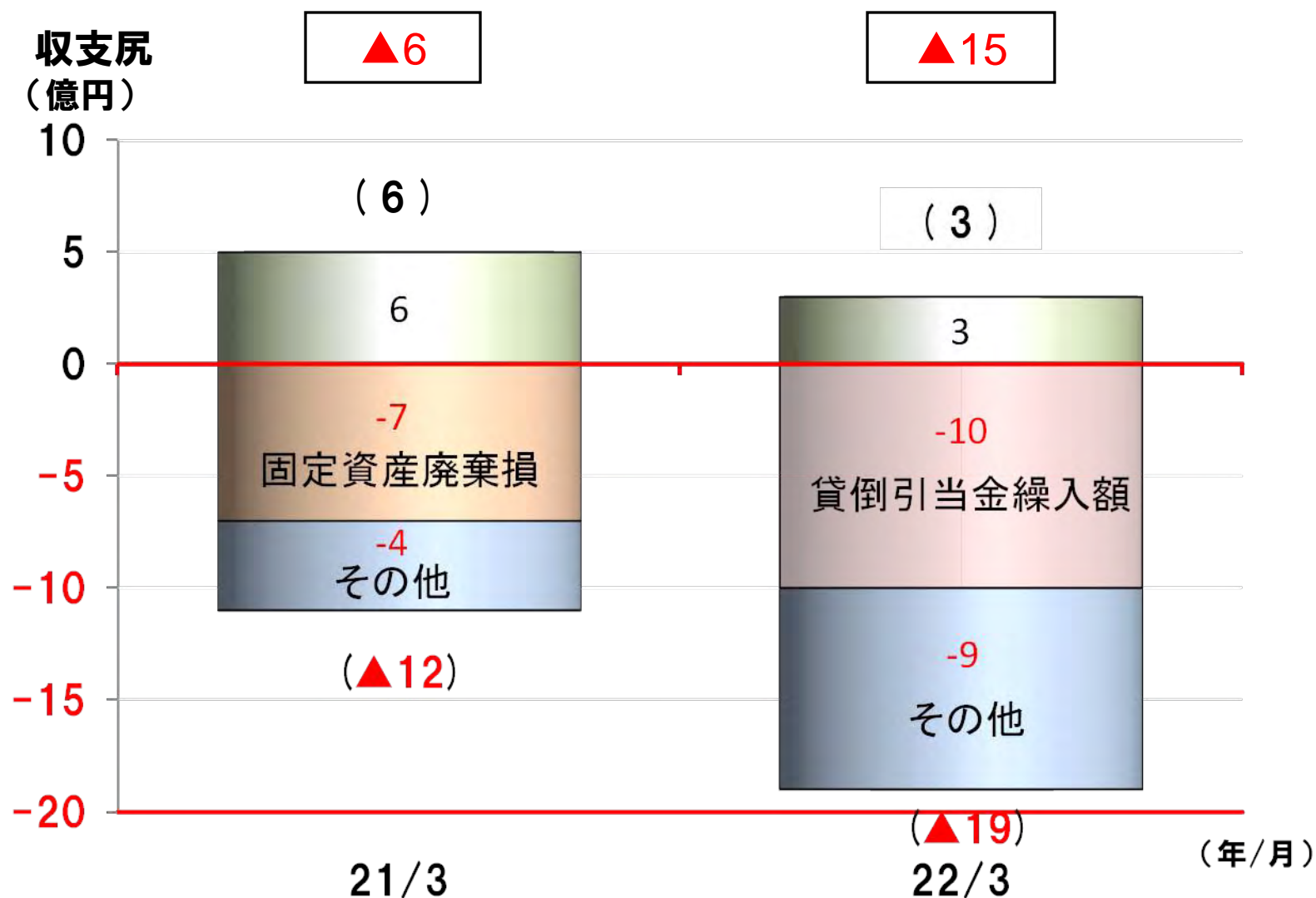
単位:億円



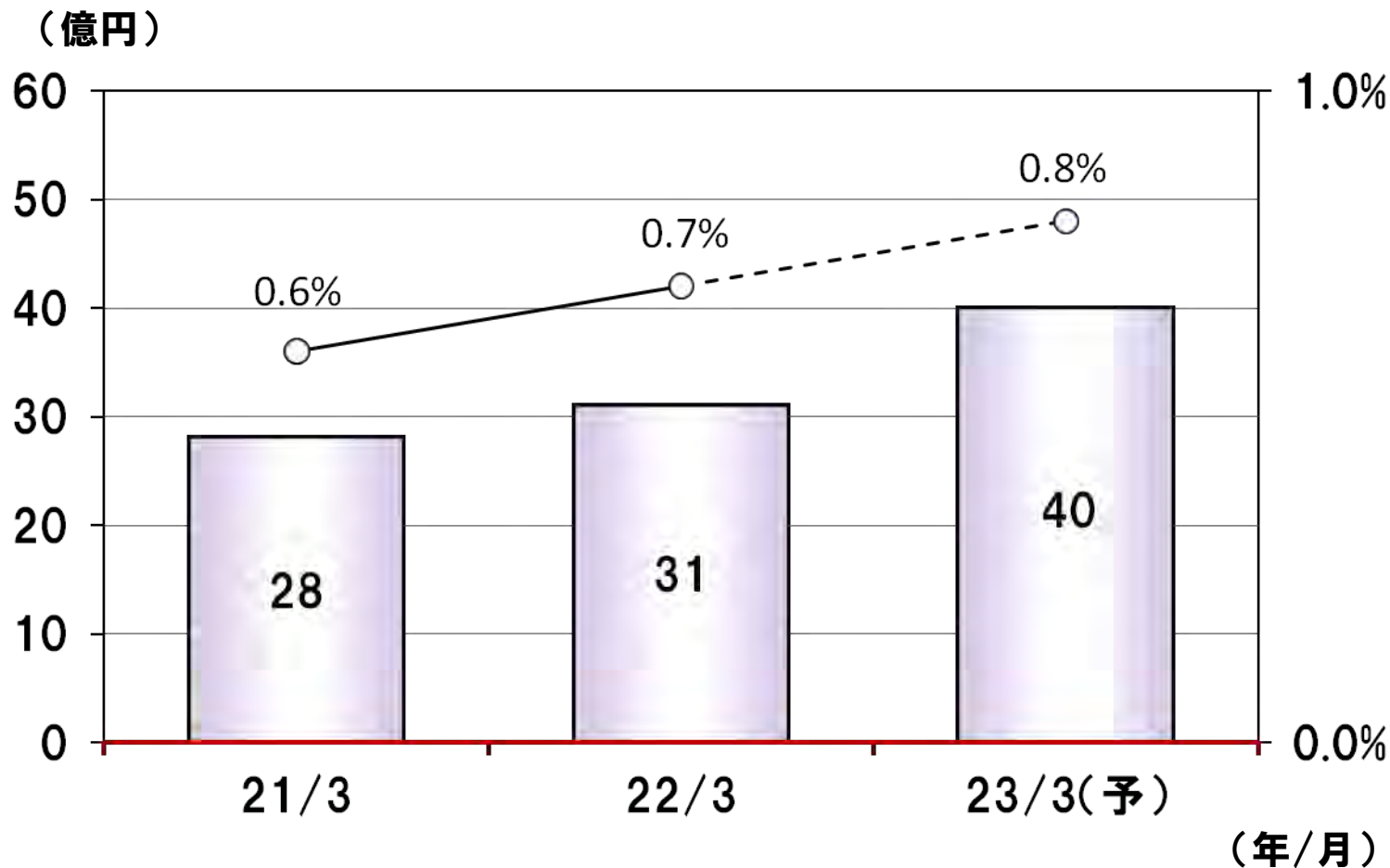
【連結】経常利益の推移



【連結】特別損益の推移



【連結】当期純利益の推移



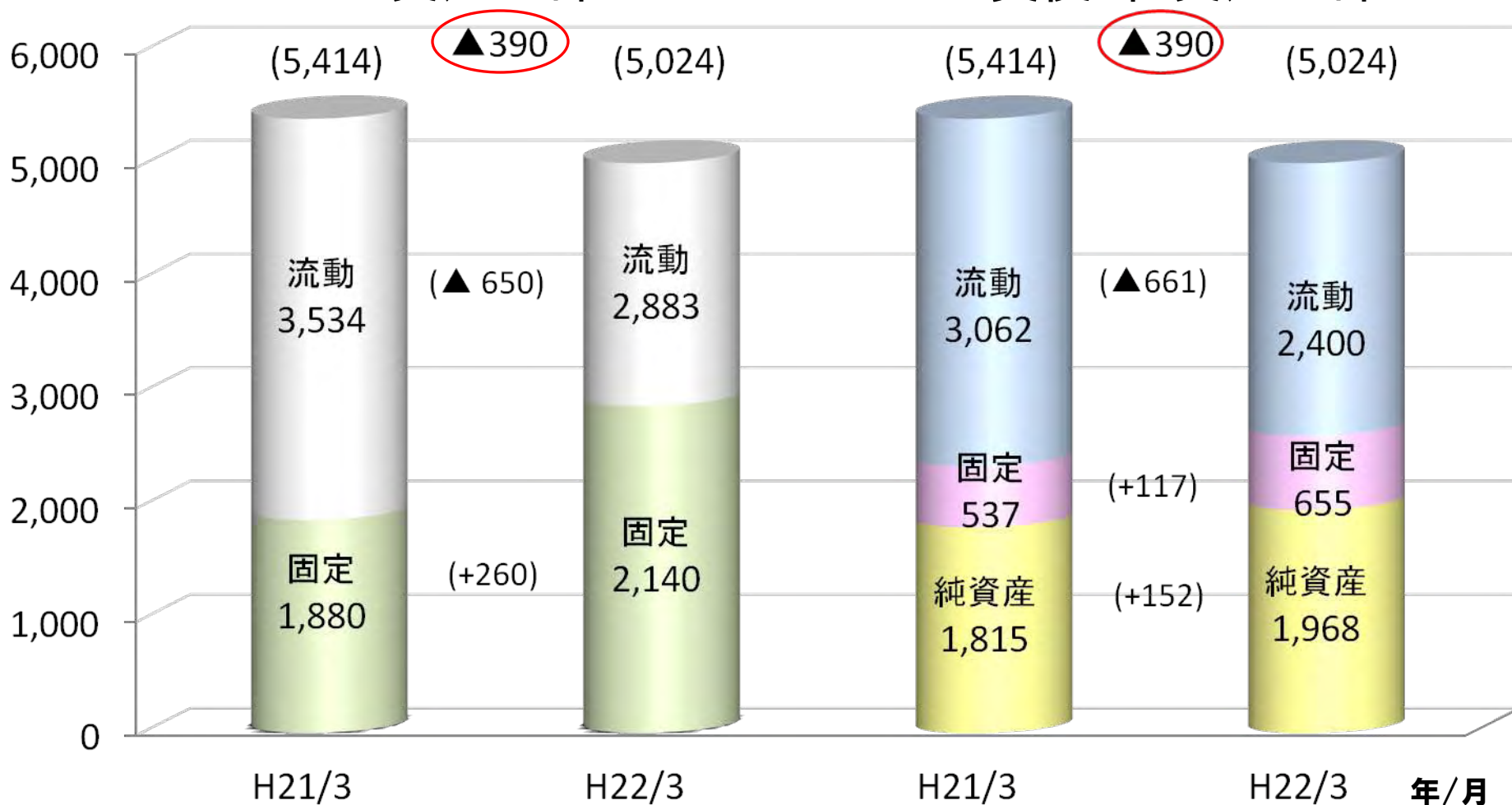
2-2. 連結貸借対照表

【連結】連結貸借対照表

単位：億円

資産の部

負債・純資産の部



【連結】連結貸借対照表

(億円)

年/月	21/3	22/3
(資産の部)	(5,414)	(5,024)
流動資産	3,534	2,883
固定資産	1,880	2,140
有形固定資産	833	844
無形固定資産	19	41
投資その他の資産	1,027	1,255
資産合計	5,414	5,024

受取手形・完成工事未収入金等
981
 (前期比 ▲31減少)

有価証券
170
 (前期比 168増加)

未成工事支出金
775
 (前期比 ▲795減少)

投資有価証券
1,196
 (前期比 284増加)

【連結】連結貸借対照表

(億円)

年/月	21/3	22/3
(負債の部)	(3,599)	(3,055)
流動負債	3,062	2,400
固定負債	537	655
(純資産の部)	(1,815)	(1,968)
株主資本	1,682	1,681
評価・換算差額等	91	243
少数株主持分	42	42
負債・純資産合計	5,414	5,024

支払手形・工事未払金等 1,006
(前期比 ▲64減少)

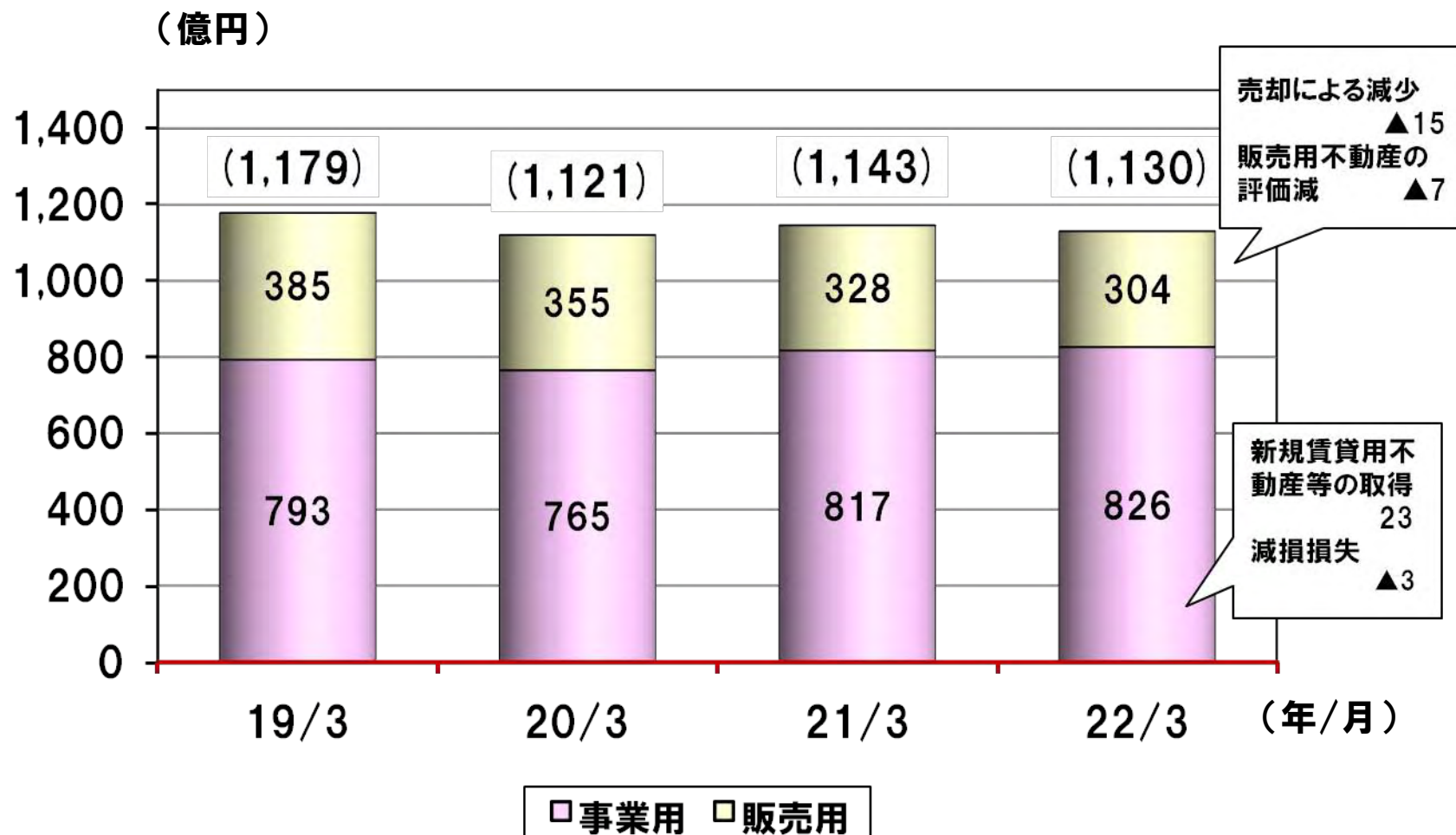
未成工事受入金 621
(前期比 ▲523減少)

短期借入金 408
長期借入金 187

合計 595
(前期比 3増加)

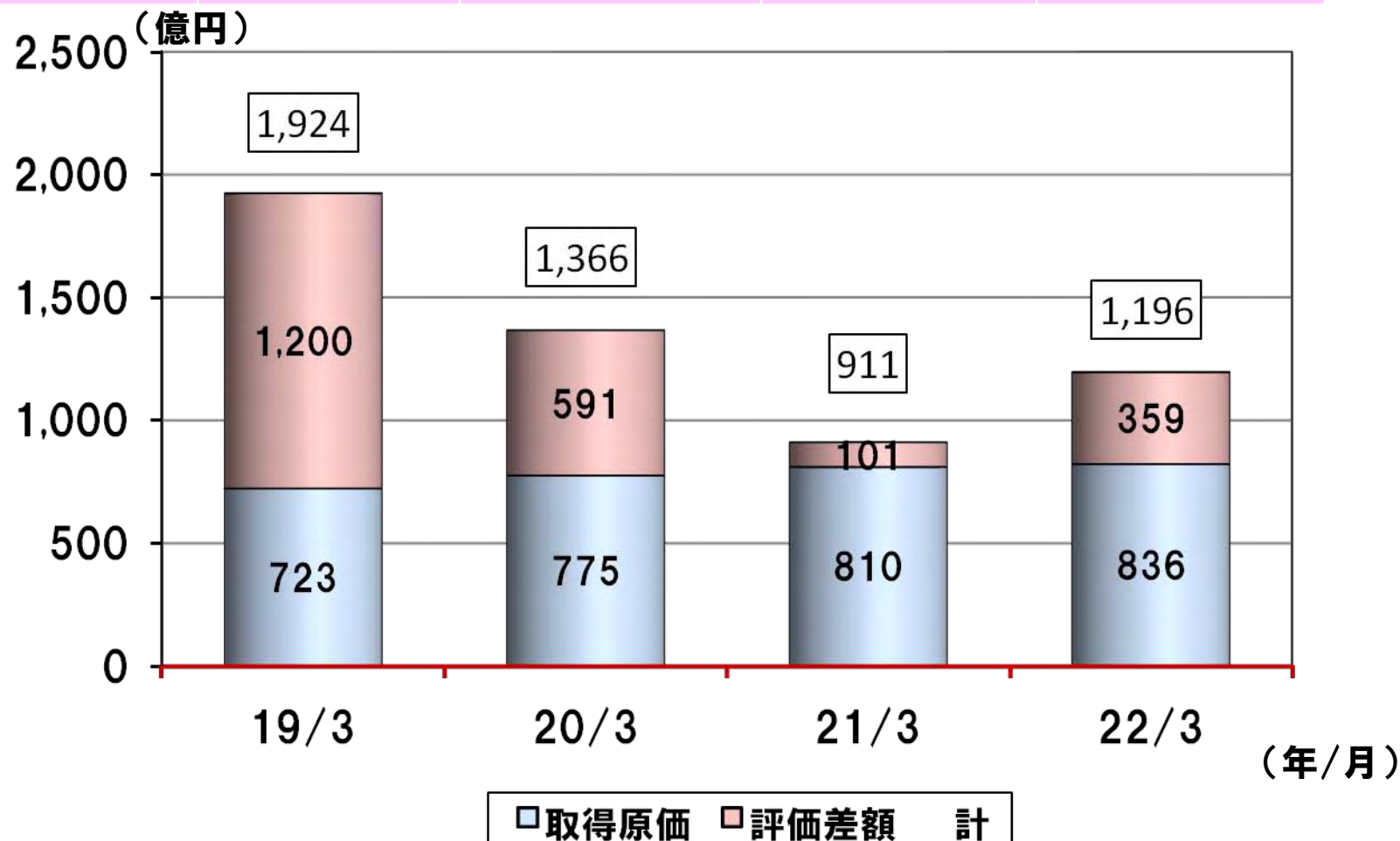
その他投資有価証券評価
差額金 213
(前期比 153増加)

【連結】保有不動産の推移



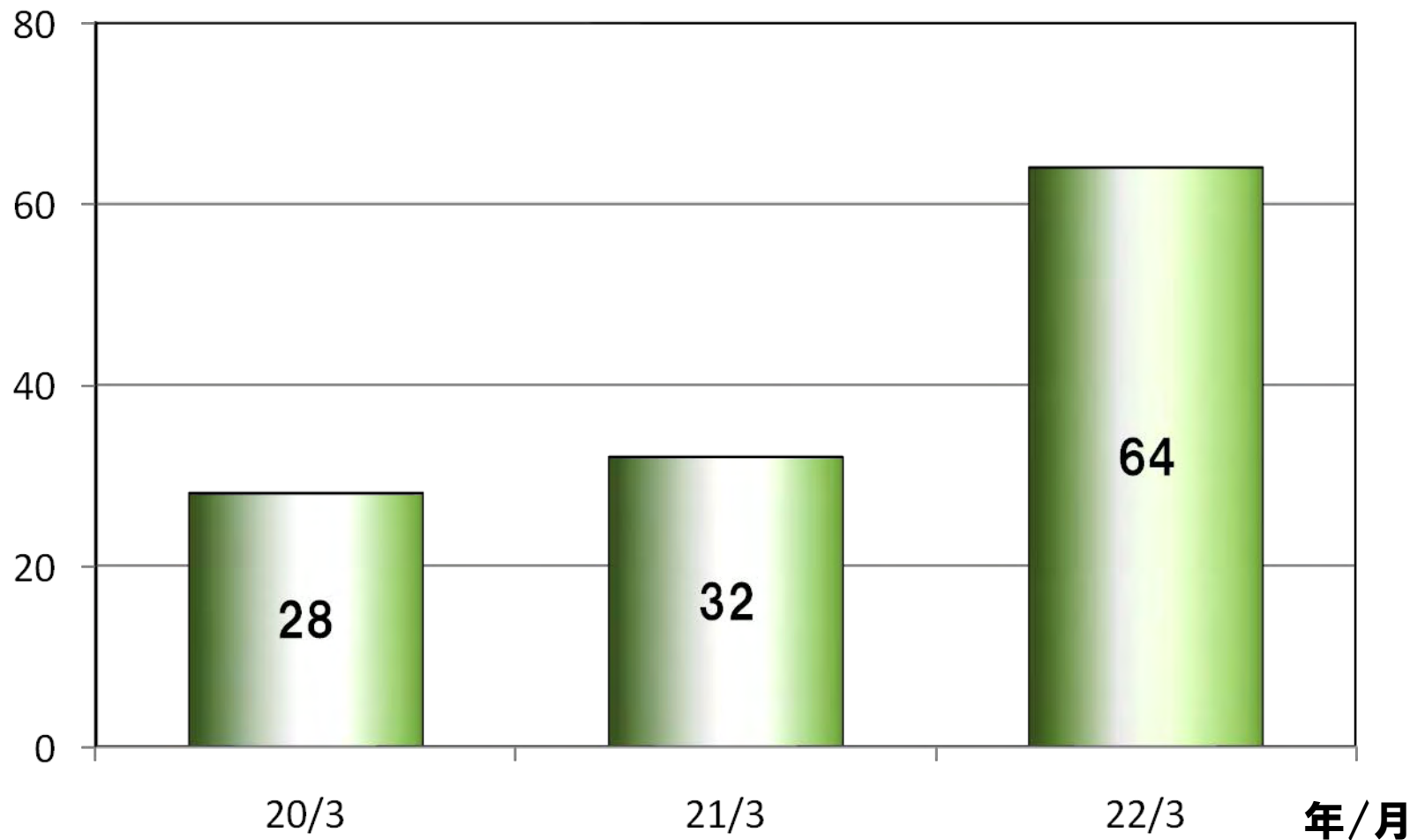
【連結】投資有価証券の推移

日経平均 17,287円 12,525円 8,109円 11,089円



【連結】工事損失引当金の推移

(億円)



2-3. 連結キャッシュフロー計算書

【連結】連結キャッシュ・フロー計算書



【連結】株価等指標

1. 1株当たり純資産額 円

20/3	21/3	22/3
678	567	621

2. 1株当たり当期純利益 円

20/3	21/3	22/3	23/3(予)
11.8	9.0	10.2	12.8

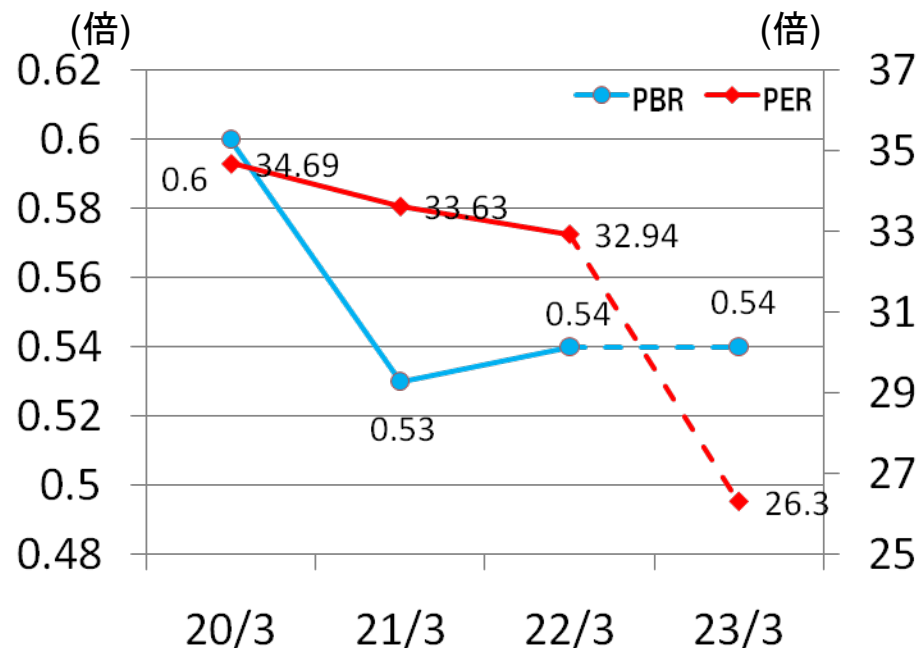
3. 株価収益率 (PER) 倍

20/3	21/3	22/3	23/3(予)
34.6	33.6	32.9	26.3

4. 株価純資産倍率 (PBR) 倍

20/3	21/3	22/3	23/3(予)
0.60	0.53	0.54	0.54

PERとPBRの推移



日経平均
株価
時価総額

	20/3	21/3	22/3
日経平均	12,525円	8,109円	11,089円
株価	410円	303円	337円
時価総額	1,322億円	977億円	1,087億円

賃貸等不動産の状況

当社グループでは、東京を中心に賃貸収益を得ることを目的にオフィスビルや商業施設を所有しております。これらの賃貸等不動産の当連結会計期間末の時価と当連結会計期間における損益は、以下の通りになります。

単位：億円

連結貸借対照表計上額	時 価	差 額	損 益	
523	750	226	24	利回り 4.6%

設備投資の状況

単位：億円

	21/3	22/3	増減額	23/3 計画
有形固定資産	98	34	▲63	53
無形固定資産	11	23	+12	22

人がつくる。人でつくる。

